

一喜一憂

No.18

「一喜一憂」

情況の変化に喜んだり、心配したりすること

藤屋 侃士

下松市幸ヶ丘

日常の中での非日常

「機内食を食べる」

やっと全国で緊急事態宣言が解除された。夏ごろのニュースでも、平均寿命は男女ともに過去最高を更新したということが報道されていた。昨年

本人の平均寿命は男性が81・64歳、女性は87・74歳。いずれも過去最高で、男性は9年連続、女性は8年連続で更新したとのことである。それだけ、健康に気を付けて過ごした結果なのだろうか。

自由に移動でき、大切なのは、平均寿命は男女とも重症化する人は減ってきている、というニュースを聞くこととする。

自由に移動でき、大切なのは、平均寿命は男女とも重症化する人は減ってきている、というニュースを聞くこととする。

自由に移動でき、大切なのは、平均寿命は男女とも重症化する人は減ってきている、というニュースを聞くこととする。

自由に移動でき、大切なのは、平均寿命は男女とも重症化する人は減ってきている、というニュースを聞くこととする。

自由に移動でき、大切なのは、平均寿命は男女とも重症化する人は減ってきている、というニュースを聞くこととする。

自由に移動でき、大切なのは、平均寿命は男女とも重症化する人は減ってきている、というニュースを聞くこととする。

自由に移動でき、大切なのは、平均寿命は男女とも重症化する人は減ってきている、というニュースを聞くこととする。

クラスの機内食を通信販売で購入してみた。

全日空(ANA)のエコノミークラスの機内食を購入したのだが、2020年12月

から販売を開始、雇用の確保やフードロスの解消といったこともあったそうだ。インター

ネットで購入できるが、発売と共に売り切れになつてしまうこともあるほど人気だ。100万食も売れているというのだから驚く。

機内食と同じパッケージというのも、楽しい気分になる。機上気分が日常に非日常が加わつたようで嬉しくなる。海外旅行に行き始めたころは、機内食

が出てくると、必ずと言っていいほど、エコノミークラスのテーブル

に載せられた機内食の写真を撮つたものだ。まだ、フィルム

写真の時代。現像し

たときの最初のほうに

機内食の写真があつたことが思い出される。

冷凍で届くエコノミークラスの機内食。予想以上においしかった。

彩りもよく、見た目が

も楽しい。飛行機の中で食べたものよりおいしく感じるのは、人気の機内食が選りすぐられて

いるせいなのか、航空会社の違いか、気圧の

違いなのか、気分的な

ものなのか。

冷凍食品を温めるのに時間がかかつてしまうものもあるが、この機内食は冷蔵庫で解凍して食べる前にチンするので3分ですむ。カップラーメンと同じ時間。この手軽さも嬉しい。職場に弁当を持参する女性陣(娘・嫁・孫)たちに好評で、凍ったまま持つていくと、

昼頃にはちょうどよく溶けていて電子レンジで軽く温めて食べられるので便利と、気に入っている。

値段は1食あたり750円。これは高いか安いか微妙なところかもしれない。750円

出せばもつとおいしいものが食べられるかもしれないが、非日常の心が躍る思いを回想させてくれることを含んでいると思えば、悪くないのかもしれない。



機内食と同じパッケージが楽しい。



スープとサラダを付けた手軽な夕食



野菜もしっかり入った「チキンザンギ丼」